

都市に比べ生活・産業基盤に著しい格差が生じている農村において、生活の利便性の向上、農業生産・農産物流通等の活性化を図るための IT 及びモバイル技術を利用した域内のネットワーク形成に関する研究開発、実用化等の産学官連携方策について検討することを目的に、平成 24 年 3 月 5 日、初山別村自然交流センターで平成 23 年度「初山別村・暮らしを支えるネットワーク研究会」が開催されました。

冒頭、初山別村官本村長と研究会 長南会長の挨拶のあと、役場から平成 23 年度事業実施概要が報告された。その後、5 課題の研究および事例報告が行われ、最後に総括と展望が議論されました。最後に、役場からネットワークの構築により、産業振興あるいは高齢者対策、福祉・医療、教育振興など様々な分野での利活用が可能になるとの期待が表明されました。参加者数は村内を中心に、関係機関を含めて 70 名でした。

